



岡山市の財政状況

2015年10月19日 合同IR 説明会資料



岡山市
OKAYAMA CITY

目次

i 岡山市のすがた ……2

- 岡山市の概要
- 都市機能
- 利便性に優れた暮らしやすい街
- 岡山市の人口、将来推計人口

ii 行財政改革 ……9

- 行財政改革の目標
- これまでの行財政改革

iii 財政状況 ……11

- 平成26年度普通会計決算
- 職員数の削減と適正化
- 市債残高
- 財政指標の推移
- 健全化判断比率等は基準をクリア

iv めざす都市像 ……18

- 岡山市の発展に資する取り組み
- 平成27年度一般会計当初予算

v 市債発行の方針 ……22

- 今後の起債運営
- 市場公募地方債の発行

岡山市の概要①

■ 人口

706,786人(H27.8末現在)【住民基本台帳人口】

■ 面積

789.96km²

■ 自然

旭川と吉井川が瀬戸内海に注ぐ岡山平野の中央に位置
南部は干拓による広大な平野、北部は吉備高原につながる山並み

■ 気候

温暖な瀬戸内海特有の風土
快晴の日が多く、台風や雪の影響が少ない

■ 名産

「果物王国」岡山市は、マスカット・白桃などの果物が揃い、瀬戸内海ではサワラやママカリなどの海の幸が育まれます

岡山市の概要②

■ 晴れの国おかやま

降水量1ミリ未満の日が日本一多く「晴れの国」と言われています

■ 良質な水

水量豊富な河川が市内を流れているため水不足になることはなく、岡山市の水道水は、安全でおいしい水として知られています



■ 少ない地震

岡山は国内でも地震の少ない地域であり、過去に起きた地震回数は全国平均の3,176回と比べ778回となっています

降水量1mm未満の日の平年値（1981-2010）



気象庁 HP より

過去50年間（1963-2012）の地震回数



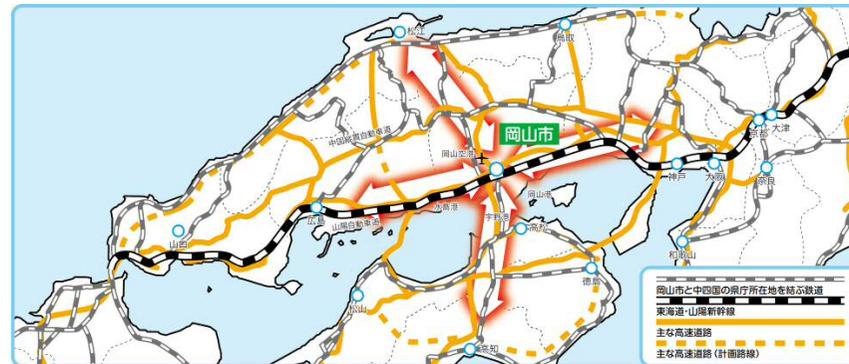
気象庁 HP より

都市機能①

中四国地方の交通の要衝

鉄 道

JR岡山駅には、すべての新幹線が停車し、東京(3時間12分)、名古屋(1時間36分)、大阪(44分)、福岡(1時間40分)等主要都市からのアクセスに優れています。また、在来線も7路線が乗り入れ、岡山駅は四国方面、山陰方面への玄関口となっています。



高速道路

西日本を東西に貫く山陽自動車道と、日本海から太平洋に至る中国横断自動車道・瀬戸中央自動車道が交差しています。

空 港

岡山空港には、国内3路線(東京、札幌、那覇)、国際2路線(ソウル、上海)が就航しています。また、市内中心部から空港までは車で25分の距離にあり、約2,900台の無料駐車場を完備しています。



岡山駅前桃太郎像



都市機能②

医療・福祉、学術・研究の分野で高い都市機能の集積

岡山市は、病院数、医師数などの医療基盤が充実しており、医療技術の面でも、臓器移植や遺伝子治療に代表される先進的な医療技術は世界に注目されています

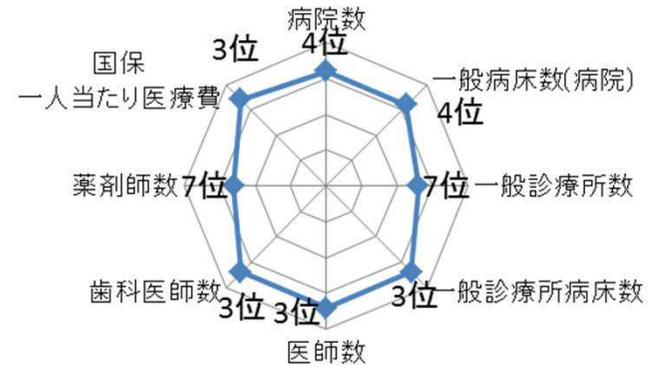


新市民病院外観



新市民病院 (H27.5)

人口10万人当たり医療資源に関する本市の順位



資料:医療費:厚生労働省「医療費の地域差分析(H24)」
病院数、一般病床数(病院)、一般診療所数、一般診療所病床数、歯科診療所数:
厚生労働省「医療施設調査(H25)」、総務省「国勢調査(H22)」をもとに作成
医師数、薬剤師数:厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(H24)」、
総務省「国勢調査(H22)」をもとに作成

医療資源は人口10万人当たり一般病床数(ベッド数)で4位、同医師数で3位など、指定都市の中でも充実しています。

岡山市内には多くの医療機関が集積しており、特に岡山大学病院は世界初となる脳死・生体肺移植に成功するなど、最先端の医療を提供しています。

利便性に優れた暮らしやすい街

住みやすい生活環境

- 保育園数 **第4位** (人口10万人あたり16.2)
- 幼稚園数 **第2位** (人口10万人あたり12.0)
- 大学・短期大学数 **第3位** (人口10万人あたり1.55)
- 文化施設数 **第3位** (人口10万人あたり3.0)
- 公立図書館蔵書数 **第2位** (人口10万人あたり396千冊)
- 都市公園面積 **第2位** (人口1人あたり15.4㎡)
- 家賃(民営借家)の安さ **第6位** (3.3㎡あたり4,161円)
- 平均通勤時間の短さ **第5位** (片道平均23.9分)

※経済産業省「商業統計調査」などによる

政令指定都市で
比較して



シティミュージアム



吉備津神社

自転車先進都市



岡山市内は平地が多く、自転車に適した地形であり、コミュニティサイクル「ももちやり」、自転車走行空間(レーン等)や駐輪施設の整備等により、自転車を便利に使えるまちづくりを進めています



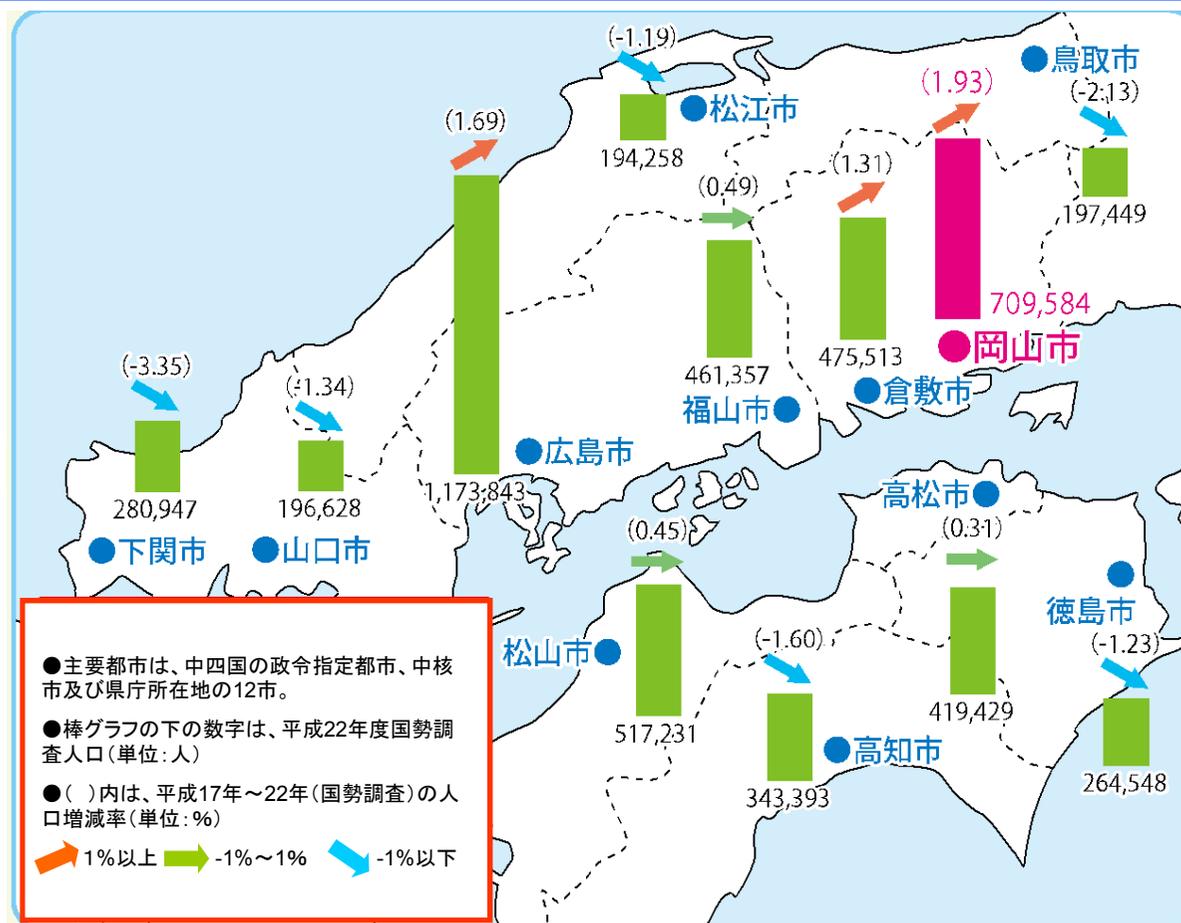
北長瀬南口自転車等駐車場
(平成27年2月1日オープン)



「ももちやり」順次拡充中
(1台あたり回転率は**トップクラス!!**)

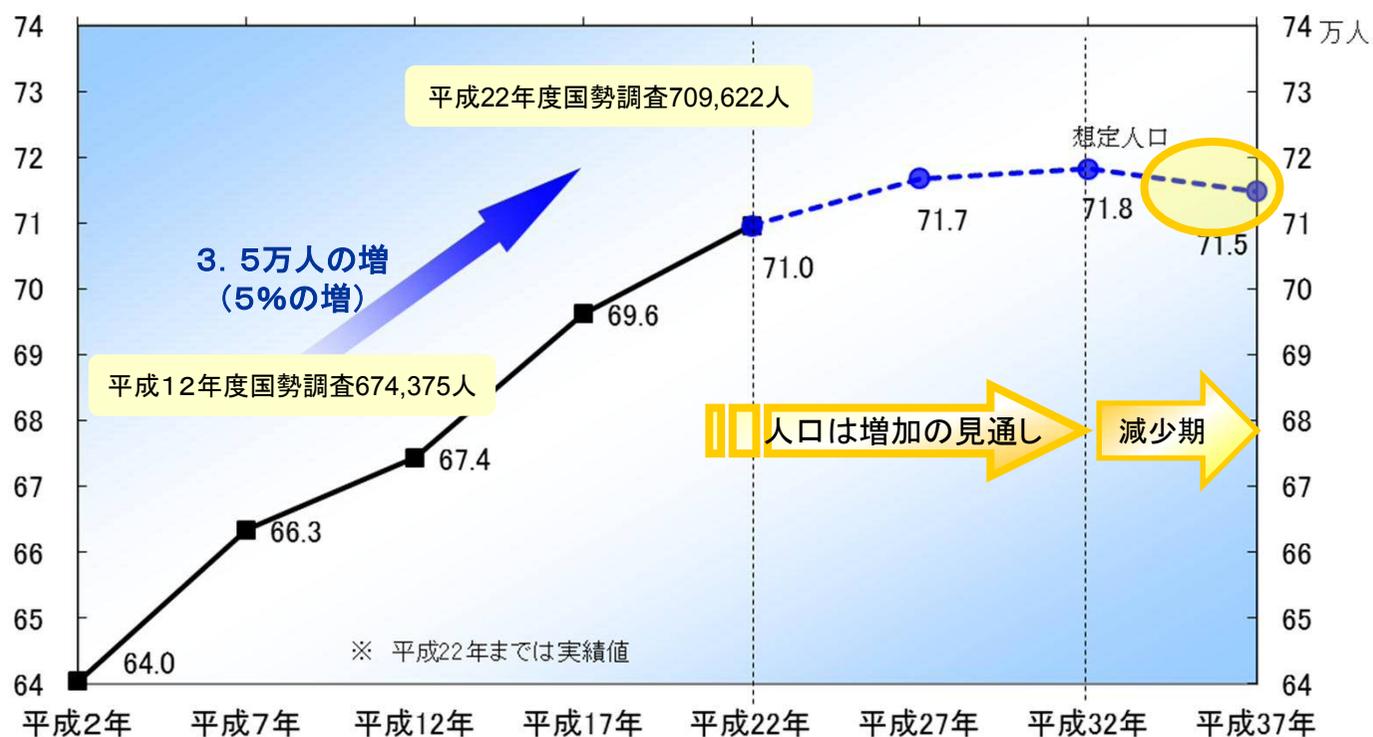
岡山市の人口

岡山市の人口は70万人を超え、さらに増加しています
 ～中四国主要都市の中で一番高い人口増加率～



将来推計人口

- 平成32年の71.8万人をピークに人口減少期への突入が見込まれる
- 平成12年から平成22年までの10年間で3.5万人の増



資料: 総務省「国勢調査」、独自推計

行財政改革の目標

■ 平成27年度までに財政的・人事的指標を目標水準へ

H17当時、借金総額約7千億円

危機意識から、**行財政改革の断行**に着手!!

長期計画編(H17~28)の目標

短期計画編(H17~20)で改革実施済

新・短期計画編(H21~26)の改革実施中

年 度	H17決算	H22目標値 (決算)	H27目標値 (決算)
経常収支比率	94.1%	-	政令指定都市 上位程度
実質公債費比率	21.2%	16%程度	12%程度
人件費比率	20.6%	18%台	17%台

- H27.4月までの定員管理の目標
 - 事業の選択と集中による市債借入額の抑制
 - 市民事業仕分けによる改革事項
 - 庁内事業仕分けによる取組等
- [財政効果額目標 約170億円]**
[財政効果額実績 約177億円]

次期行革方針については、新たな総合計画と一体的に策定することとしています

これまでの行財政改革

- H19年度から3年間の職員採用凍結を断行
- 『行政サービス棚卸し』を実施し、全ての事務事業の必要性を見直し
- 行財政改革にかかる財政効果額 約422億円

短期計画編の取組による財政効果

区分	期間	財政効果額
目標	H17~H21	約200億円
実績	H17~H20	約245億円

事務事業の見直し	29億円
民間活力の積極的活用	8億円
定員及び人事管理の適正化	56億円
給与・手当等の適正化	9億円
経費節減等の財政効果	36億円
市税徴収率の向上	20億円
投資的経費の縮減	87億円

財政効果額を1年前倒しで達成

新・短期計画編の取組による財政効果

区分	期間	財政効果額
目標	H21~H26	約170億円
実績	H21~H26	約177億円

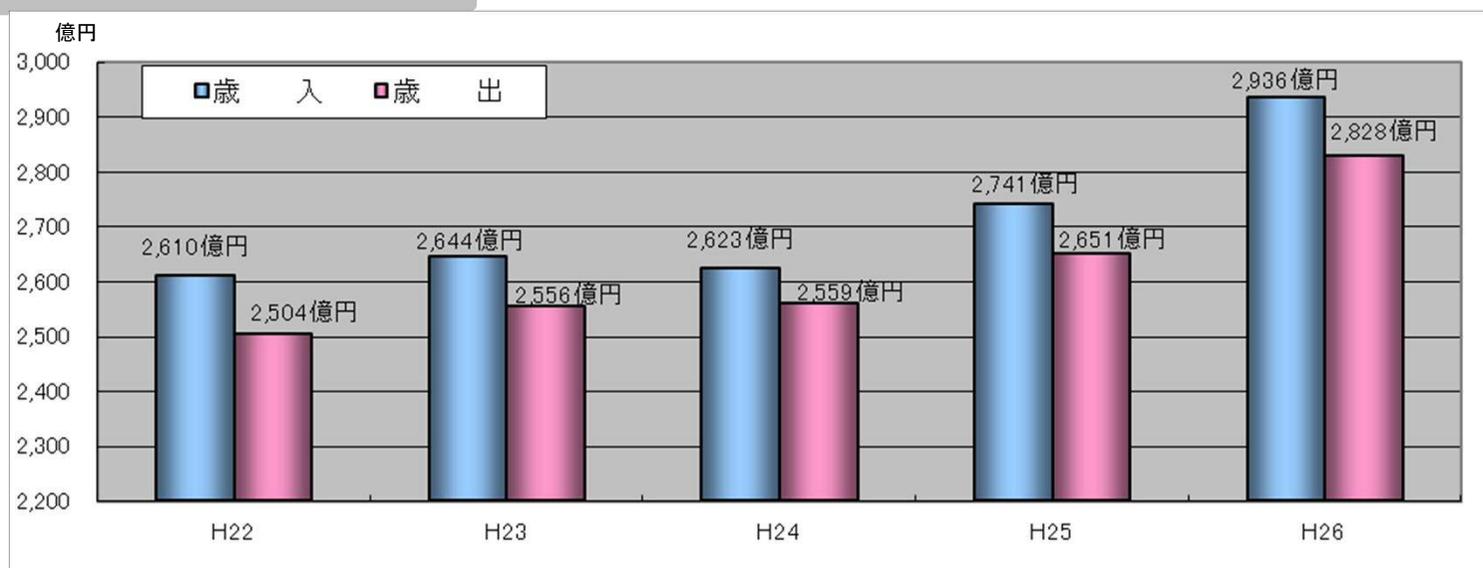
事務事業の見直し	53億円
民間活力の積極的活用	5億円
定員及び人事管理の適正化	19億円
給与・手当等の適正化	19億円
経費節減等の財政効果	78億円
増収施策の取組	3億円

取組内容の見直し等を行い、改革事項の深化を図る

平成26年度普通会計決算

■ 実質収支の黒字額は3年連続増加

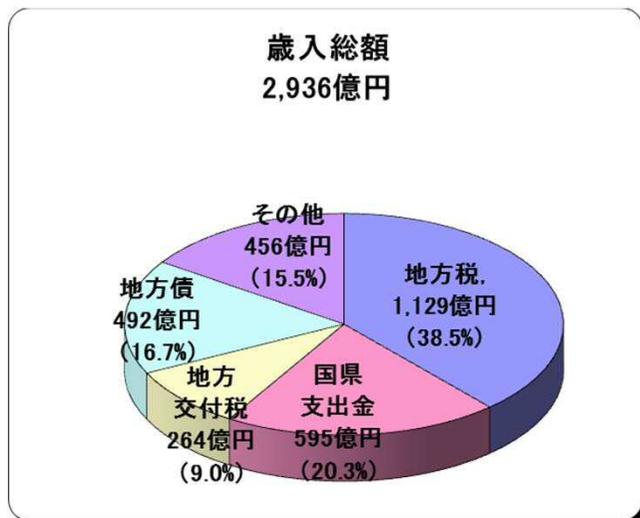
歳入歳出決算の推移



(百万円)	H22	H23	H24	H25	H26
歳入	261,039	264,434	262,293	274,091	293,586
歳出	250,364	255,594	255,930	265,070	282,819
形式的収支	10,675	8,840	6,363	9,021	10,767
実質収支	9,082	6,972	4,872	7,210	9,002

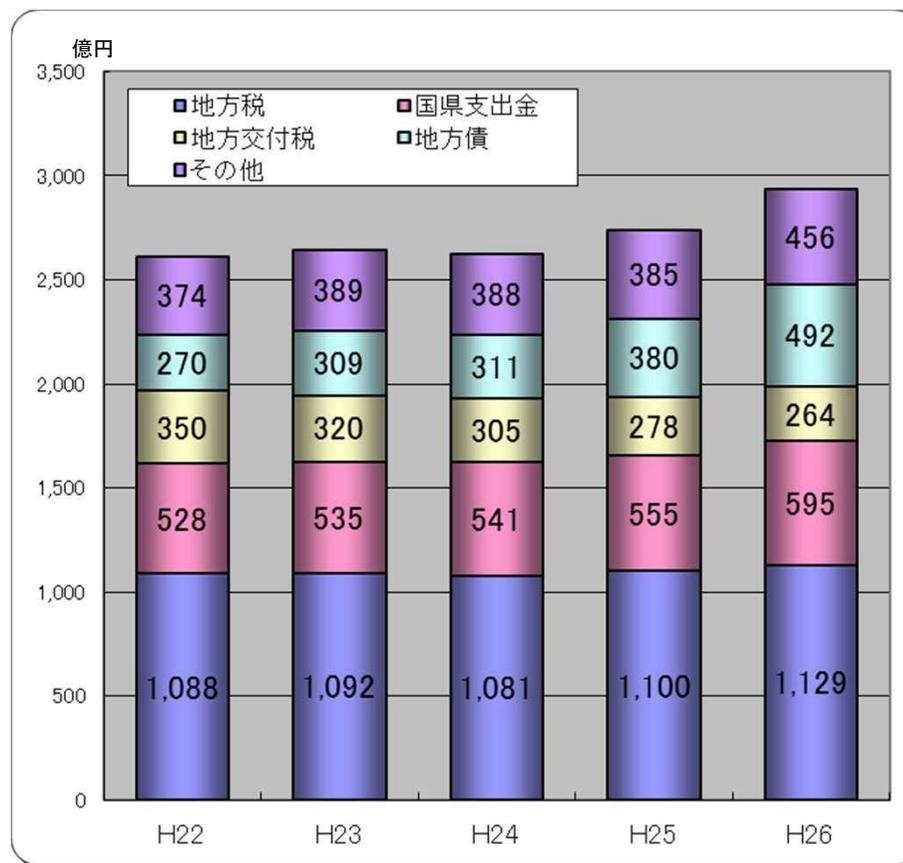
平成26年度普通会計決算(歳入)

■ 地方税収入は1,129億円となり、自主財源比率は47.6%



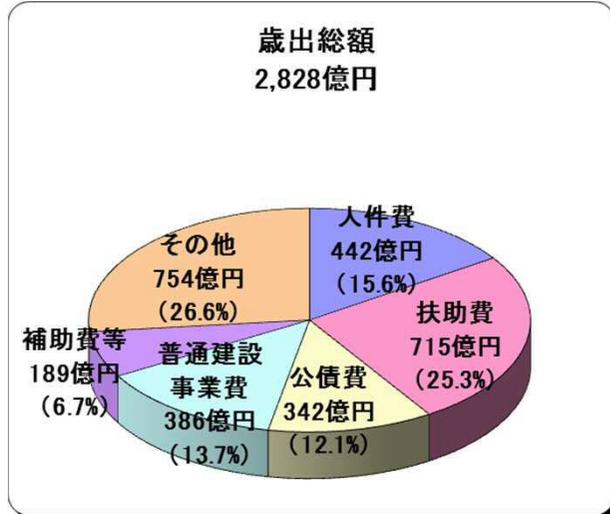
- 地方税は、市民税及び固定資産税の増などにより前年度比2.7%の増
- 地方交付税は、税収の伸びにより基準財政収入額が増加したこと及び臨時財政対策債への振替額が増加したことなどにより4.0%の減
- 国庫支出金は、臨時福祉給付事業費補助金の増などにより6.3%の増
- 地方債は、岡山市立総合医療センターへの貸付金の増などにより、29.3%の増

歳入内訳の推移



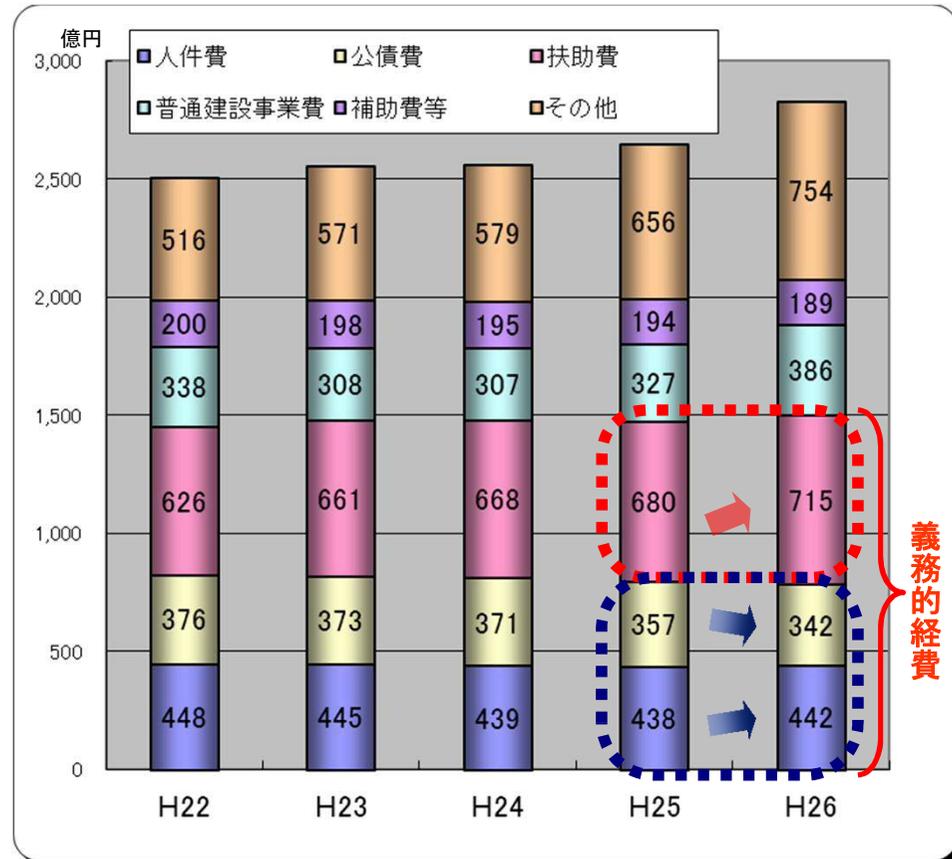
平成26年度普通会計決算(歳出)

■ 人件費、扶助費、公債費の義務的経費が全体の53.0%を占める



- 扶助費は、臨時福祉給付金や子育て世帯臨時特例給付金の給付費などが増加したことより前年度比5.2%の増
- 人件費は、国要請による職員給削減の終了に伴う増などにより1.0%の増
- 公債費は、借入抑制により4.1%の減
- 普通建設事業費は、学校園の耐震化や岡山西部総合公園(仮称)整備費の増により17.9%の増

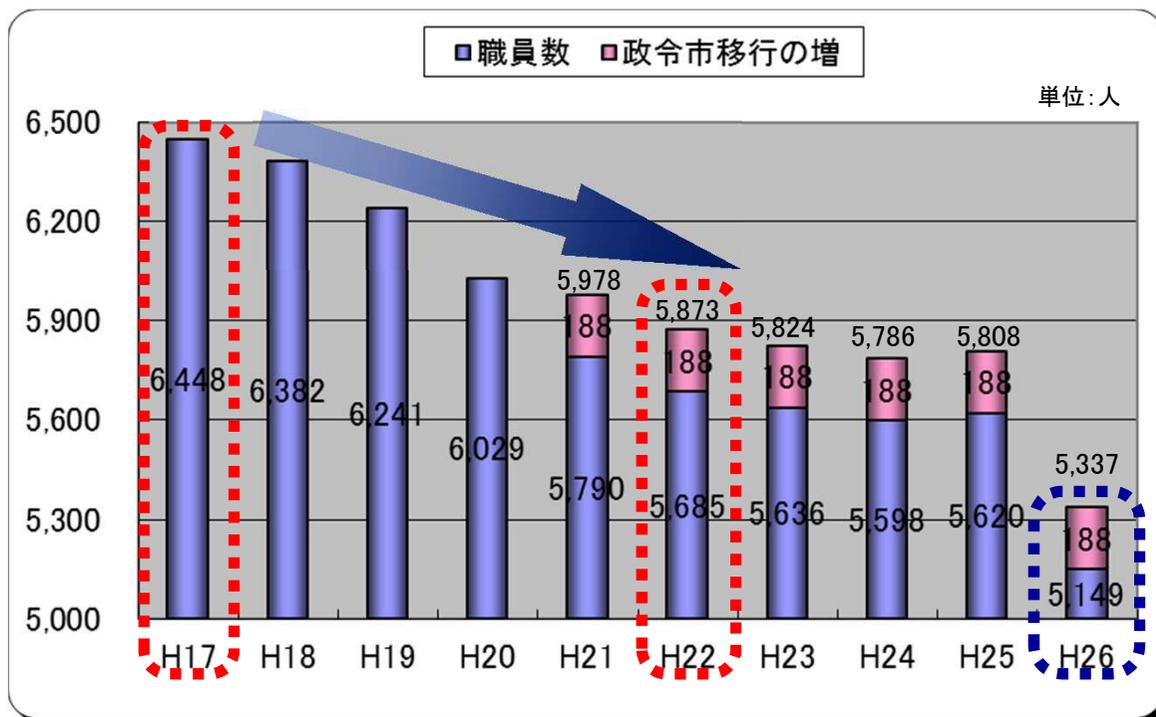
歳出性質別内訳の推移



職員数の削減と適正化

- 職員採用凍結などにより職員数を削減し、人件費総額を抑制

職員数の推移



※職員数は各年度4月1日付の人数

- 職員数の適正化についてH17に策定した集中改革プランでH22.4までに10%削減を目指し達成

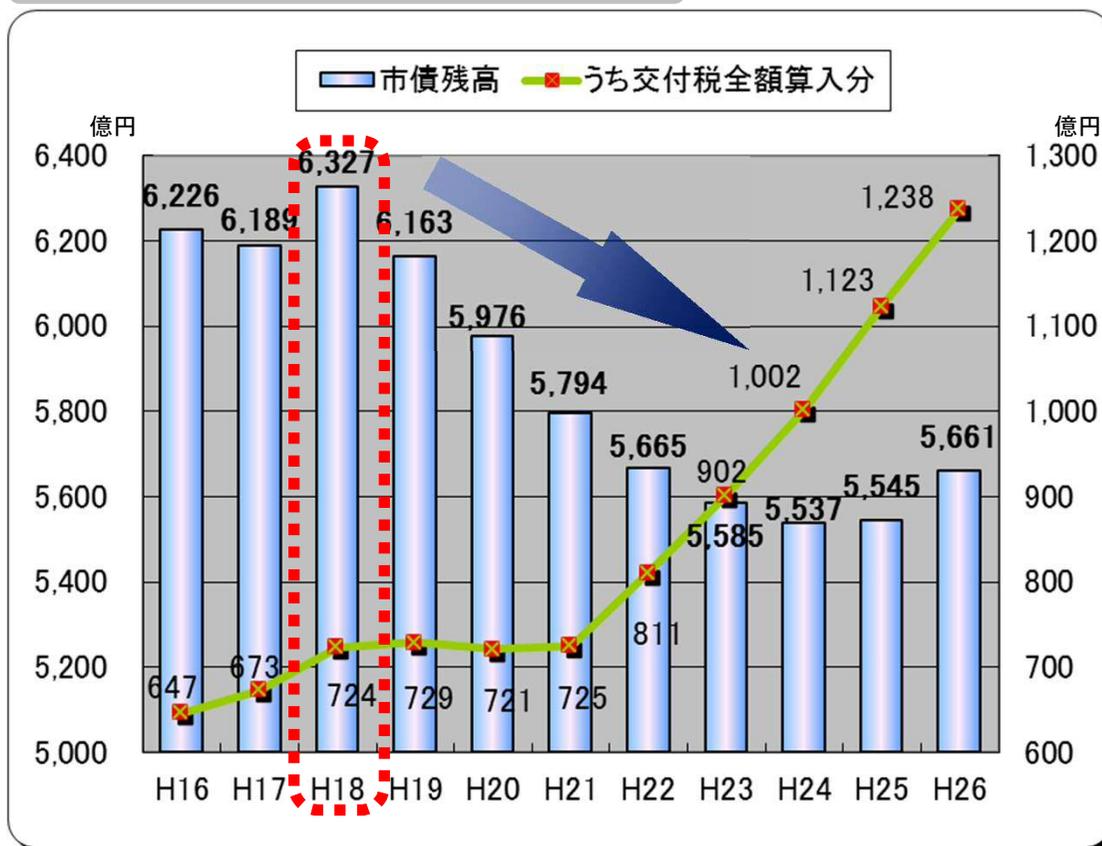
- 政令指定都市移行による権限移譲の換算分188人を除くと**1,299人 (20.1%)**の削減

- 今後とも、人事配置の一層の見直しによる効果的・効率的な配置の推進に取り組みます

平成26年度決算における市債残高(全会計)

■ 市全体の市債残高は行革努力により減少傾向

市債残高の推移



● 借入額の抑制(全額が交付税算入される市債を除き200億円を目途)

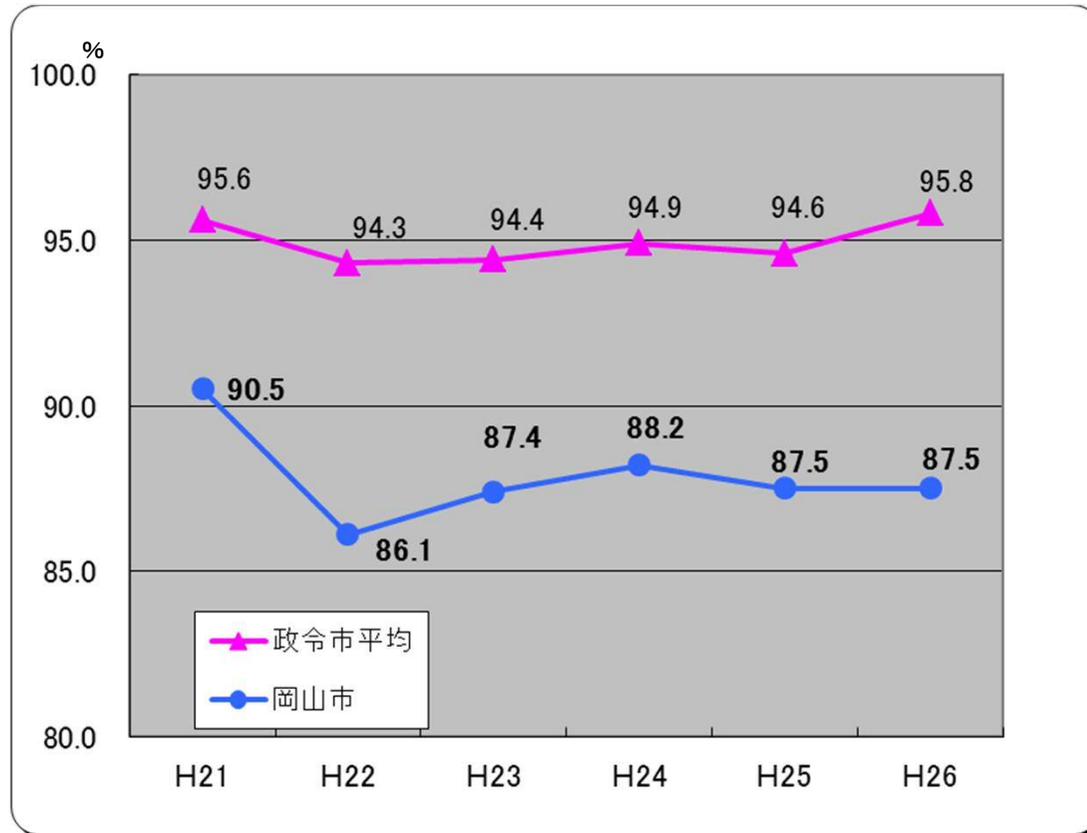
● ピーク時の平成18年度末に比べ**666億円**の減少

● 臨時財政対策債等の全額が交付税算入される市債残高が増加していることからH26年度残高は前年度より増加

財政指標の推移

■ 経常収支比率はH17から6.6ポイント改善し87.5%、政令市トップクラス

経常収支比率の推移



【経常収支比率は横ばい】

・平成26年度は87.5% (平成25年度87.5%)となり、横ばい

(参考)

平成17年度は94.1%

・平成26年度決算数値においても現時点での速報値で政令指定都市1位

行財政改革大綱の目標

長期計画編(H17~28)

【経常収支比率】

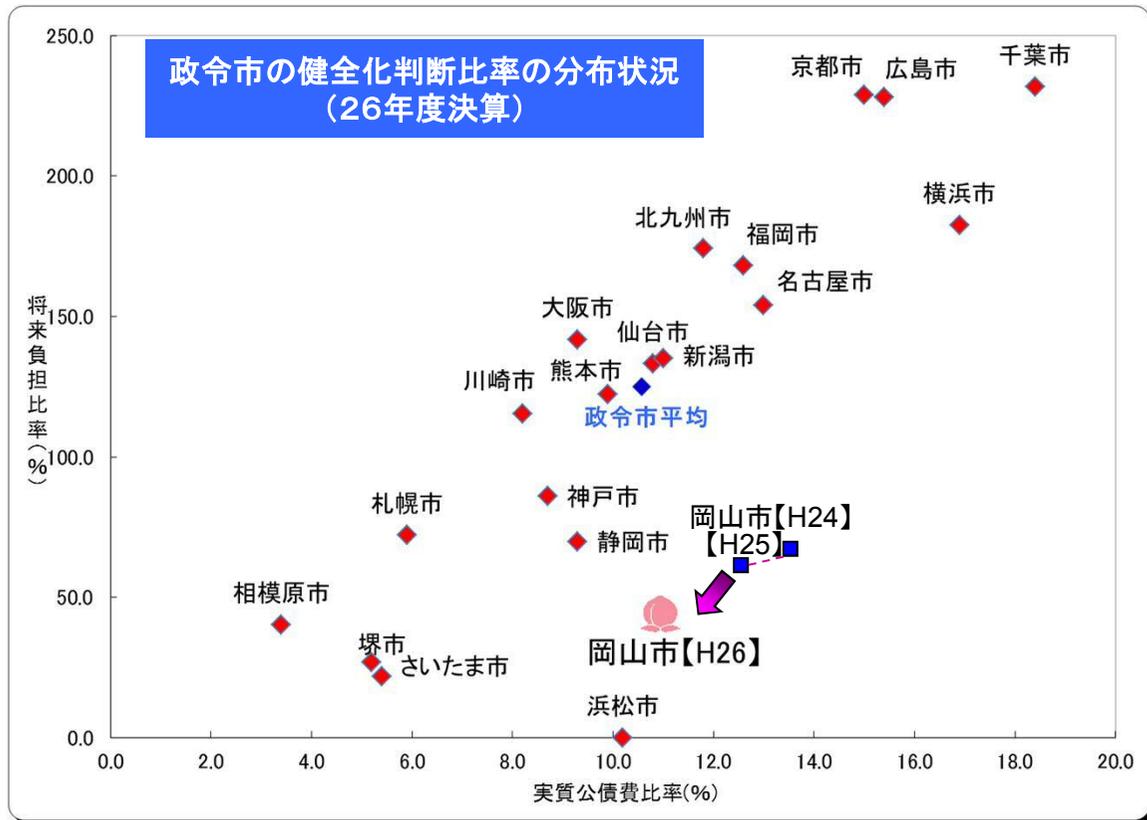
H27決算 政令指定都市上位程度

(H25決算 政令指定都市1位)

健全化判断比率等は基準をクリア

- 前年度に引き続き、実質赤字額、連結実質赤字額はなし
- 実質公債費比率は、市債の発行抑制 などにより前年度比1.1ポイント改善
- 将来負担比率は、市債の発行抑制などにより前年度比10ポイント改善

指 標		岡山市の比率	早期健全化基準	財政再生基準
健全化判断比率	実質赤字率	—	11.25%	20%
	連結実質赤字比率	—	16.25%	30%
	実質公債費率	11.0%	25%	35%
	将来負担率	43.4%	400%	
資金不足比率 (公営企業ごと)		—	(経営健全化基準) 20%	



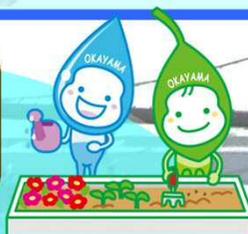
※実質赤字額、連結実質赤字額がない場合は、「—」を記載しています

平成27年9月30日総務省発表「平成26年度決算に基づく健全化判断比率・資金不足比率の概要(速報)」より

岡山市の発展に資する取り組み

「住みやすさ」「力強さ」「安全・安心」という3つの視点から10の重点化項目を設定

住みやすさ



- 1 笑顔あふれる中心市街地の創出と人にやさしい都市交通網の構築
- 2 人と自然が共生する持続可能な都市の構築
- 3 知・徳・体の調和のとれた自立する子どもの育成
- 4 女性が輝き、安心して子育てのできるまちづくり
- 5 医療の強みをいかしたまちづくり
- 6 ともに支え合う健康・福祉のまちづくり
- 7 歴史と文化が薫る誇りと一体感の持てるまちづくり

力強さ



- 8 活力とにぎわいのある国内外に開かれたまちづくり

安全・安心

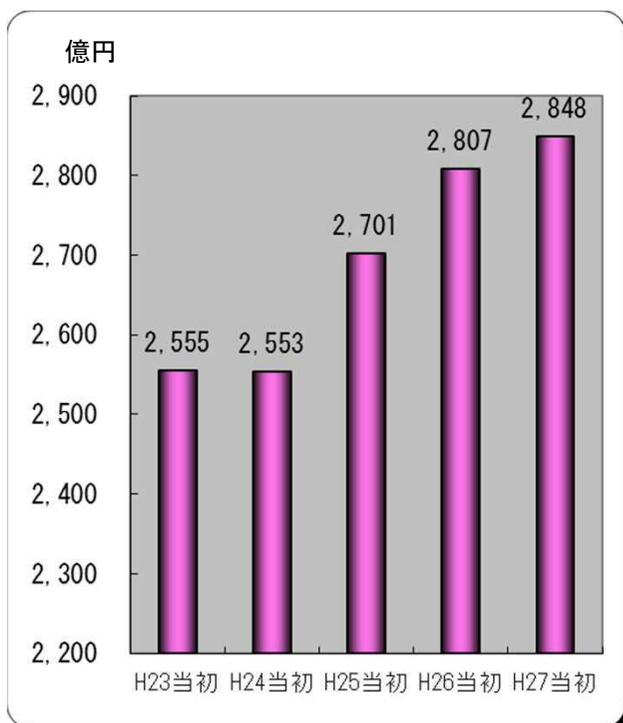


- 9 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり
- 10 パートナーシップによる持続可能な都市づくり

平成27年度一般会計当初予算

- 一般会計の当初予算額は2,848億円、前年度比で1.5%増の過去最高額

当初予算規模の推移



予算編成の基本的な考え方

平成27年度は「住みやすさ」「力強さ」「安全・安心」という3つの視点を大切に、市民と協働しながら、市民生活の充実と岡山市の発展に資する政策を一つひとつ着実に進めてまいります。

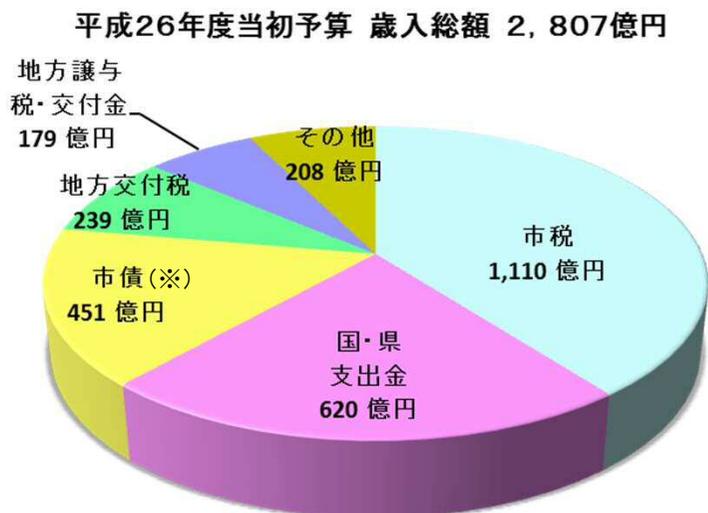
昨年の「ESDに関するユネスコ世界会議」の開催や岡山駅前への大型商業施設の開業といった大きなインパクトに、賑わいの創出やまちづくりへの期待の高まりなど、前向きな変化とそれに伴う新たな動きが創出されたこと。また、今後、市政運営の羅針盤となる総合計画や、将来的な人口減少に歯止めをかけるための「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し活力ある持続可能なまちづくりを進め、広域連携の拠点として圏域全体を牽引する役割を果たす必要があること。

こうしたことから、魅力ある中心市街地を創出し、合わせて周辺地域の振興や活力と賑わいのある国内外に開かれたまちづくりに取り組むとともに、女性が輝き、安心して子育てできる、そして知・徳・体の調和のとれた自立した子どもを育てられるまちづくり、医療の強みをいかしながら、ともに支え合う健康・福祉のまちづくり、歴史と文化が薫る誇りと一体感が持てるまちづくり、災害に強い安全・安心なまちづくりなど、いま行うべき取り組みを着実に前進させることに重点を置いて編成。

歳入予算の内訳

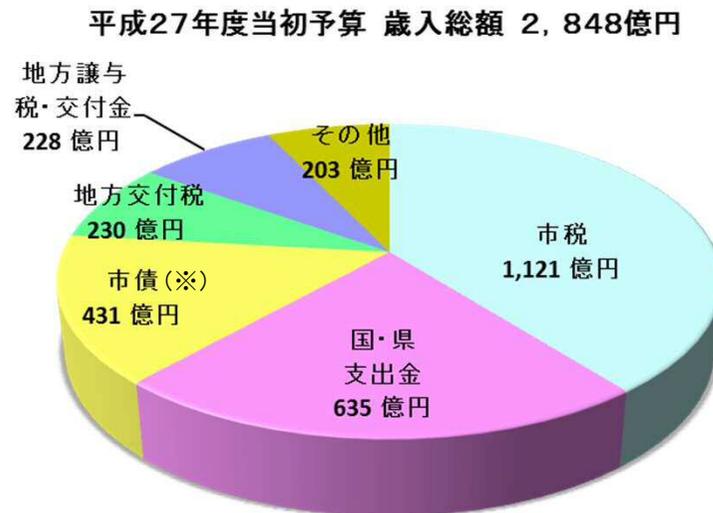
- 市税は、景気の持ち直しによる個人市民税、法人市民税の増加などにより、対前年度比較で11億円(1.0%)の増
- 国・県支出金は、子ども・子育て支援新制度移行に伴う県支出金の増加などにより、同15億円(2.4%)の増
- 市債は、地方消費税交付金の増加などにより臨時財政対策債の減少などにより同20億円(4.5%)の減
- 臨時財政対策債を含む実質的な地方交付税は、同29億円(6.3%)の減

平成26年度当初予算



※うち臨時財政対策債は220億円

平成27年度当初予算



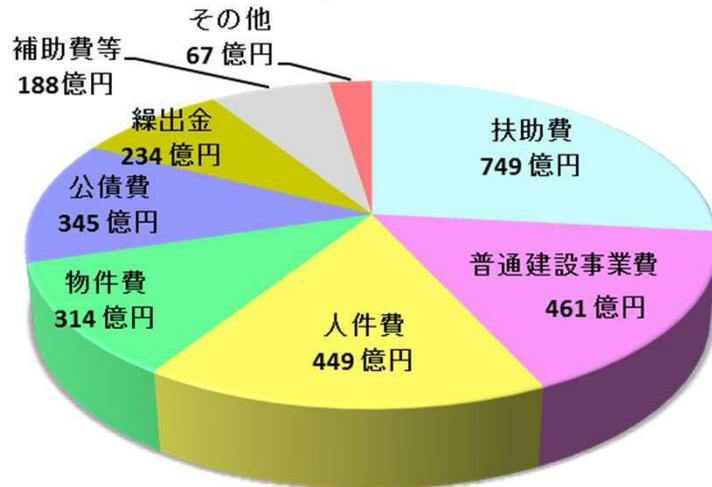
※うち臨時財政対策債200億円

歳出予算〔性質別〕の内訳

- 普通建設事業費は、市有建築物の耐震化や岡山操車場跡地の整備の推進などにより対前年度比較で13億円(2.7%)の増
- 扶助費は、臨時福祉給付金等の減少により同4億円(0.5%)の減
- 物件費は、社会保障・税番号制度への対応や基幹業務システムの最適化等に伴う情報システムの改修経費の増加などにより、同22億円(2.7%)の増
- 繰出金は、高齢化等に伴う保険医療特別会計への繰出金の増加などにより同12億円(5.1%)の増
- 公債費は、市債の借入れ抑制などにより同20億円(5.7%)の減
- 人件費は、退職見込者数の増加などにより同13億円(3.0%)の増

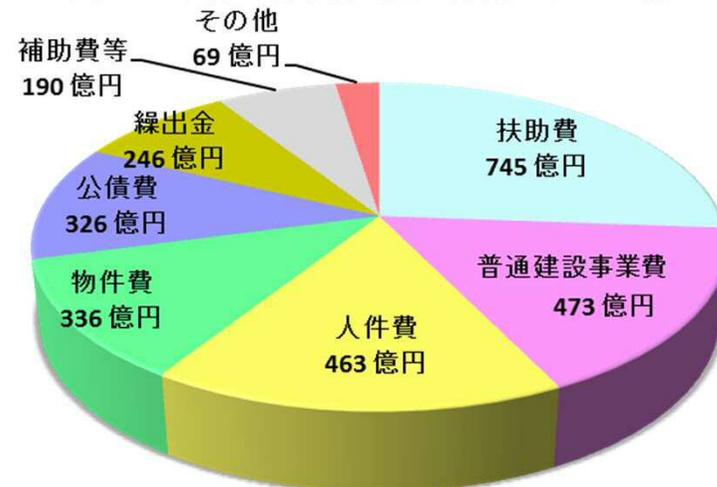
平成26年度当初予算

平成26年度当初予算 歳出総額 2,807億円



平成27年度当初予算

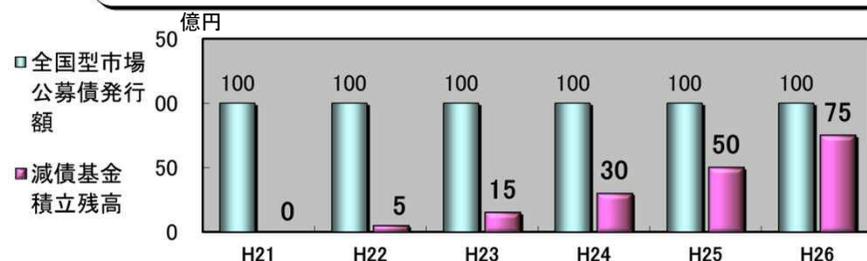
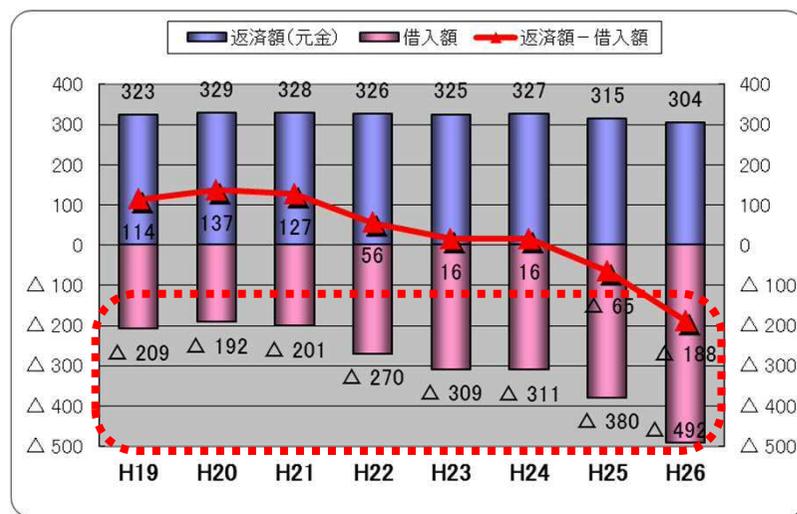
平成27年度当初予算 歳出総額 2,848億円



今後の起債運営

- 平成18年度以降は市債の借入額を大幅に抑制
- 平成25年度から臨時財政対策債(地方交付税全額算入)等による借入額が増加
- 選択と集中により、将来世代への負担を極力抑制

市債の借入額と返済額の推移(普通会計)



借入額の抑制

- ◇平成26年度は臨時財政対策債、新市民病院整備事業等による借入額増も、元利償還金の全額が地方交付税に算入されるものを除いた借入額を抑制
- ◇時限的に有利な起債の活用等により、実質公債費比率は12%以内を目標にし、将来世代への負担の増加に配慮した借入の抑制を図ります

減債基金の着実な積立

- ◇減債基金への積立不足額はゼロ
- ◇総務省ルール(発行額の1/30)を上回る積立ルール

岡山市では、10年後の借入額の半分を借換することを前提として、借入翌年度より年5%ずつ基金を着実に積立っています

市場公募地方債の発行

- 平成21年度の政令市移行以来、全国型市場公募地方債を安定的かつ継続的に発行してきており、今年度も継続発行予定

全国型市場公募地方債発行実績

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26
発行額	100億円	100億円	100億円	100億円	100億円	100億円
償還年限	10年	10年	10年	10年	10年	10年
発行日	H22.1.29	H23.1.31	H24.1.31	H25.1.31	H26.1.31	H27.1.30

平成27年度発行予定

- ◇発行額：100億円(10年)
- ◇条件決定日：平成28年1月予定
- ◇発行日：平成28年1月下旬予定

お問い合わせ

岡山市 財政局 財政課

〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1番1号

Tel 086-803-1146

Fax 086-803-1735

E-mail zaiseika@city.okayama.jp

URL <http://www.city.okayama.jp/zaisei/zaisei/index.html>

「伝説の岡山市」スペシャルサイト <http://den-oka.jp/>

